



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月14日

上場会社名 ポラリス・ホールディングス株式会社  
コード番号 3010 URL <https://www.polaris-holdings.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 辻川 高寛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 最高財務責任者 (氏名) 半田 高史

TEL 03-5822-3010

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	14,120	353.4	2,624		2,180		2,555	
2023年3月期第2四半期	3,114	77.6	31		60		107	

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 2,796百万円 ( %) 2023年3月期第2四半期 107百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	21.04	20.75
2023年3月期第2四半期	1.09	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	22,393	6,317	28.2
2023年3月期	24,653	2,911	11.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 6,316百万円 2023年3月期 2,905百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		0.00	0.00
2024年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,100	214.9	3,070		2,340		2,670	399.8	21.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	123,471,189 株	2023年3月期	116,969,189 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,674 株	2023年3月期	1,674 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	121,436,602 株	2023年3月期2Q	97,699,895 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「(3)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	9
3. その他 .....	10
継続企業の前提に関する重要事象等の解消 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、本年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に変更され、社会活動の正常化が更に進みました。一方、経済活動の正常化に伴う急速な雇用環境の改善による労働需要の高まりによる人件費の高騰や、ウクライナ情勢や円安などを契機とした資源価格の高止まりなどコスト上昇が引き続き経済活動に重要な影響を与えております。

当社グループのメイン事業であるホテル業界におきましては、行動制限の解除や円安による国内旅行へのシフト、入国制限の大幅な緩和による訪日外客数の回復により、国内宿泊者数及び外国人宿泊者数はともに新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前の水準に戻りつつあります。観光庁が公表している宿泊旅行統計調査によると、2023年8月第2次速報は、国内全体の延べ宿泊者数は6,102万人泊（2019年同月比△3.5%、前年同月比+30.2%）、その内訳として日本人宿泊者が5,093万人泊（2019年同月比△5.2%、前年同月比+10.4%）、外国人宿泊者1,010万人泊（2019年同月比+6.4%、前年同月比+1,296.5%）となっております。

このような環境下において、当社の国内グループにおきましては、引き続きレベニュー・マネジメントの強化を進めるとともに、新規店舗の出店や収益拡大の施策に積極的に取り組んでまいりました。具体的には、本年4月に京都府京都市においてKAYA 京都 二条城 BWシグネチャーコレクションbyベストウェスタン、9月には宮城県仙台市においてKOKO HOTEL 仙台勾当台公園、KOKO HOTEL 仙台駅前South、KOKO HOTEL 仙台駅前Westの運営を運営委託契約に基づき開始、ベストウェスタンブランドの各ホテル、KOKO HOTEL Premier 金沢香林坊及びKOKO HOTEL Premier 熊本のレストラン営業を再開、コロナ軽症者療養施設となっておりましたKOKO HOTEL 銀座一丁目及びKOKO HOTEL 神戸三宮は本年4月から、KOKO HOTEL 鹿児島天文館は本年6月から通常営業に戻り運営を開始しております。また、KOKO HOTEL 大阪心斎橋、KOKO HOTEL 名古屋栄及びKOKO HOTEL 福岡天神において客室等の改装工事を実施しており今後の売上向上が期待できます。

その結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は、次のとおりとなりました。

売上高	14,120百万円（前年同四半期比353.4%増）
営業利益	2,624百万円（前年同四半期31百万円）
経常利益	2,180百万円（前年同四半期△60百万円）
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,555百万円（前年同四半期△107百万円）

損益面においては、国内事業の売上高は13,221百万円（前年同四半期3,114百万円）となり、販売用不動産を売却したこと、運営ホテル数の増加に加え稼働率及び客室単価が改善したこと及び新規ホテルの開業に伴う開業準備資金を受領したことなどにより大幅な増収となりました。また、前連結会計年度末においてレッド・プラネットブランドにてフィリピン共和国でリミテッドサービスホテルを所有・運営するRed Planet Holdings (Philippines) Limited及びその子会社を連結子会社にしたことにより海外事業の売上高899百万円が加わり、連結ベースの売上高は14,120百万円となりました。

営業利益は、販売用不動産の売却益を計上したこと、国内ホテル事業における損益分岐点の引き下げを進めたことなどにより、国内事業の営業利益は2,600百万円（前年同四半期営業利益31百万円）と大幅な黒字化を実現いたしました。また、海外ホテル事業においてフィリピン国内のホテル需要の回復が進む中、保有ホテル資産等の減価償却費負担が重く、海外事業の営業利益は23百万円となり、最終的に連結ベースの営業利益は2,624百万円となりました。

経常利益は、国内事業において経常利益2,314百万円（前年同四半期経常損失60百万円）と大幅な黒字化を実現しました。また、海外事業において、物価上昇に伴う借入コストの上昇により、当第2四半期連結累計期間において支払利息267百万円を計上したこと等により、海外事業の経常利益が△134百万円となったものの、連結ベースの経常利益は2,180百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、国内事業における親会社株主に帰属する四半期純利益は2,501百万円（前年同四半期純損失107百万円）となりました。また、海外事業における親会社株主に帰属する四半期純利益は54百万円となり、連結ベースの親会社株主に帰属する四半期純利益は2,555百万円となりました。

セグメント間の取引を含む各セグメントの業績は、次のとおりであります。

ホテル事業は、売上高6,109百万円（前年同四半期比97.3%増）、営業利益725百万円（前年同四半期比339.6%増）となりました。主な売上は、ホテルマネジメント売上であります。

不動産事業は、売上高8,291百万円（前年同四半期売上高176百万円）、営業利益2,290百万円（前年同四半期営業利益18百万円）となりました。主な売上は販売用不動産の売却によるものであります。

## (2) 財政状態に関する説明

総資産は、22,393百万円となりました。これは、前連結会計年度末より2,260百万円の減少であります。主な要因は、販売用不動産の減少5,857百万円、現金及び預金の増加2,989百万円などによるものであります。

負債合計は、16,076百万円となりました。これは、前連結会計年度末より5,666百万円の減少であります。主な要因は、長期借入金（1年内返済予定を含む）の減少4,525百万円、長期預り金の減少1,048百万円などによるものであります。

純資産合計は、6,317百万円となりました。これは、前連結会計年度末より3,406百万円の増加であります。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上などに伴う利益剰余金の増加3,585百万円、為替換算調整勘定241百万円の計上などによるものであります。

## (3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結会計期間末における当社グループの現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ2,991百万円増加し、6,562百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、8,442百万円のプラス（前年同四半期は81百万円のマイナス）となりました。主な増加要因は、販売用不動産の減少5,826百万円、税金等調整前四半期純利益2,600百万円などによるもの、主な減少要因は、賃貸借契約解約益366百万円、利息の支払額330百万円などによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、32百万円のプラス（前年同四半期は487百万円のマイナス）となりました。主な増加要因は敷金及び保証金の回収による収入218百万円などによるものであります。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出153百万円などによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、5,507百万円のマイナス（前年同四半期は1,809百万円のプラス）となりました。主な増加要因は、新株予約権の行使による株式の発行による収入610百万円などによるものであります。主な減少要因は、長期借入金の返済による支出5,031百万円、長期預り金の返還による支出1,048百万円などによるものであります。

当社グループの資本の財源及び資金の流動性については、経営環境や事業の状況を勘案の上、将来キャッシュ・フローの状況を把握し資金の管理を行っており、資金需要が生じた場合には、主として金融機関等からの借入れにより資金調達を行う予定であります。

## (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月10日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日発表の「2024年3月期業績予想の上方修正及び特別利益（賃貸借契約解約益）の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,283,720	7,272,732
売掛金	1,839,769	2,226,617
販売用不動産	5,857,254	-
原材料及び貯蔵品	79,156	103,095
その他	1,527,876	1,672,046
貸倒引当金	△724,860	△797,320
流動資産合計	12,862,915	10,477,170
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,046,234	7,576,877
土地	476,590	499,437
使用権資産(純額)	2,040,876	1,837,654
その他(純額)	303,748	304,913
有形固定資産合計	9,867,448	10,218,880
無形固定資産		
その他	29,039	28,938
無形固定資産合計	29,039	28,938
投資その他の資産		
投資有価証券	193,058	190,448
不動産信託受益権	316,416	309,376
敷金及び保証金	930,069	758,491
その他	454,273	410,098
投資その他の資産合計	1,893,817	1,668,413
固定資産合計	11,790,304	11,916,231
資産合計	24,653,218	22,393,401

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	390,727	317,674
1年内償還予定の社債	—	950,073
短期借入金	587,200	560,600
1年内返済予定の長期借入金	1,094,687	1,100,231
未払金	1,129,692	1,277,046
未払法人税等	185,931	137,849
株主優待引当金	3,915	50,117
店舗閉鎖損失引当金	151,475	—
賞与引当金	—	48,000
その他	1,207,419	1,710,621
流動負債合計	4,751,047	6,152,211
固定負債		
社債	918,366	—
長期借入金	10,453,827	5,923,333
資本性劣後借入金	950,000	950,000
リース債務	3,176,670	2,528,839
長期預り金	1,060,676	12,245
退職給付に係る負債	47,398	35,483
資産除去債務	318,623	319,000
その他	66,042	155,221
固定負債合計	16,991,600	9,924,121
負債合計	21,742,647	16,076,332
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,155	37,012
新株式申込証拠金	—	54,997
資本剰余金	2,528,713	2,033,892
利益剰余金	366,725	3,951,732
自己株式	△2,992	△2,992
株主資本合計	2,904,601	6,074,641
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	145	178
為替換算調整勘定	—	241,402
その他の包括利益累計額合計	145	241,580
新株予約権	5,826	848
純資産合計	2,910,571	6,317,069
負債純資産合計	24,653,218	22,393,401

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	3,114,361	14,120,194
売上原価	221,659	6,215,534
売上総利益	2,892,702	7,904,660
販売費及び一般管理費	2,861,578	5,280,919
営業利益	31,124	2,623,741
営業外収益		
受取利息	13	6,368
助成金収入	11,278	3,901
為替差益	285	—
その他	2,843	11,670
営業外収益合計	14,419	21,939
営業外費用		
支払利息	92,696	335,653
支払手数料	6,851	86,355
社債利息	—	31,707
為替差損	—	7,835
その他	5,791	4,059
営業外費用合計	105,338	465,609
経常利益又は経常損失(△)	△59,794	2,180,071
特別利益		
賃貸借契約解約益	—	365,703
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	57,125
特別利益合計	—	422,828
特別損失		
投資有価証券評価損	—	2,585
特別損失合計	—	2,585
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△59,794	2,600,314
法人税、住民税及び事業税	46,817	17,574
法人税等調整額	—	28,099
法人税等合計	46,817	45,672
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△106,611	2,554,642
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△106,611	2,554,642

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△106,611	2,554,642
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	34
為替換算調整勘定	—	241,402
その他の包括利益合計	△12	241,435
四半期包括利益	△106,623	2,796,077
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△106,623	2,796,077

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△59,794	2,600,314
減価償却費	103,483	341,801
賃貸借契約解約益	—	△365,703
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	△57,125
貸倒引当金の増減額(△は減少)	12	△13
株主優待引当金の増減額(△は減少)	25,200	46,201
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	636	△13,061
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	—	△94,350
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	48,000
受取利息及び受取配当金	△13	△6,368
支払利息	92,696	335,653
支払手数料	6,851	48,401
社債利息	—	31,707
投資有価証券評価損益(△は益)	—	2,585
売上債権の増減額(△は増加)	△209,243	△307,760
棚卸資産の増減額(△は増加)	△8,164	△18,109
販売用不動産の増減額(△は増加)	—	5,826,098
仕入債務の増減額(△は減少)	—	△101,933
未払金の増減額(△は減少)	△48,571	△28,172
前受金の増減額(△は減少)	8,813	91,457
未払又は未収消費税等の増減額	195,500	412,193
その他	△83,893	△6,734
小計	23,512	8,785,082
利息及び配当金の受取額	13	6,368
利息の支払額	△92,091	△330,250
法人税等の支払額	△12,375	△19,515
営業活動によるキャッシュ・フロー	△80,941	8,441,685
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	—	△153,033
無形固定資産の取得による支出	—	△4,833
敷金及び保証金の差入による支出	△53,461	△23,520
敷金及び保証金の回収による収入	—	217,538
関係会社株式取得のための前払金の支出	△433,718	—
その他	92	△3,702
投資活動によるキャッシュ・フロー	△487,087	32,449
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△185,600	△26,600
長期借入金の返済による支出	△164,020	△5,031,251
長期預り金の返還による支出	—	△1,048,431
新株予約権の行使による株式の発行による収入	2,179,481	610,427
その他	△21,349	△10,983
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,808,512	△5,506,838
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	23,817
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,240,485	2,991,113
現金及び現金同等物の期首残高	2,224,386	3,571,227
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,464,871	6,562,340

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(株主資本の著しい変動)

(新株予約権の行使)

当社は、当第2四半期連結累計期間において、ポラリス・ホールディングス株式会社2021年第1回新株予約権の行使に伴う新株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ280,204千円増加しております。

(資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分)

当社は、2023年6月28日開催の定時株主総会決議に基づき、税負担の軽減や繰越利益剰余金の欠損填補による財務体質の健全化を図る目的として、資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分を行いました。それに伴い、2023年9月1日に資本金及び資本準備金510,693千円をその他資本剰余金に振り替えました。また、振替後のその他資本剰余金775,019千円を繰越利益剰余金に振り替えております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金37,012千円、資本剰余金2,033,892千円、利益剰余金3,951,732千円となっております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	ホテル事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,096,001	18,360	3,114,361	—	3,114,361
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	157,464	157,464	—	157,464
計	3,096,001	175,824	3,271,825	—	3,271,825
セグメント利益	164,841	18,006	182,847	—	182,847

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	182,847
全社費用(注)	△151,723
四半期連結損益計算書の営業利益	31,124

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項なし

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	ホテル事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,109,426	8,010,768	14,120,194	—	14,120,194
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	279,762	279,762	—	279,762
計	6,109,426	8,290,530	14,399,956	—	14,399,956
セグメント利益	724,574	2,290,394	3,014,967	—	3,014,967

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,014,967
全社費用(注)	△391,226
四半期連結損益計算書の営業利益	2,623,741

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第2四半期連結会計期間の不動産事業セグメントの金額が著しく変動しております。その主な理由は、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」に記載のとおり、不動産事業セグメントにおいて販売用不動産を売却したことにより「販売用不動産」が減少したためであります。

### 3. その他

(継続企業の前提に関する重要事象等の解消)

当社グループは、前連結会計年度において6期連続して経常損失及び3期連続して営業キャッシュ・フローのマイナスを計上していたこと、また前連結会計年度末時点で財務制限条項に抵触した金融機関借入金90百万円が存在したことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在していると認識しておりましたが、第1四半期連結会計期間において、国内ホテル事業の業績回復が確実なものとなり、新株予約権の行使により財務基盤も安定したことから「継続企業の前提に関する重要事象等」は解消したと判断しております。